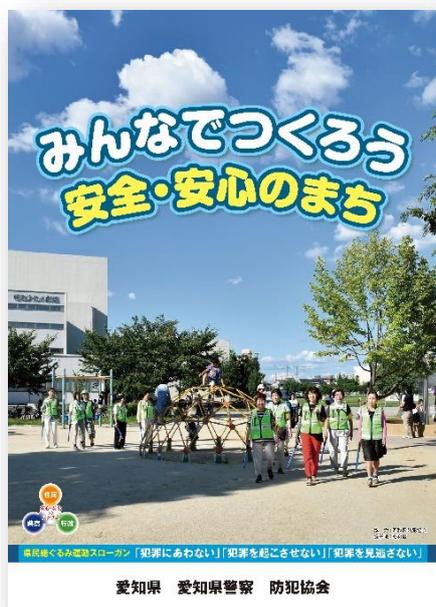


みんなで作ろう

C よりよい学校生活、集団生活の充実 小学校 中・高学年



ねらい

安全・安心な学級をつくるには、みんなの力が大切であることに気づき、自分にできることをやっていきたいという意識を高める。

資料提示の工夫

「みんな」を空欄にしてポスターを提示し、入る言葉を予想させたあと、「みんな」が入ることを知らせ、音読させる。

思考を促す
発問

- 発問1 みんなで作るより誰かに任せたほうがいいのではないですか。
※誰かに任せっぱなしだと、だんだんいいかげんになって、安全・安心のまちではなくなるというような意見が出されるだろう。それらの意見に共感したあと、次の発問をする。
- 発問2 安全・安心な学級をつくるときにも「みんな」の力が必要ですか。
※ほとんどの子どもが必要だと言うだろう。そこで、ポスター下段の3つのスローガン「犯罪にあわない」「犯罪を起こさせない」「犯罪を見逃さない」に着目させる。
- 発問3 みんなで安全・安心な学級をつくるために、どんな約束を決めますか。
※「悪口を言わない」「いじめをしていたらみんなでやめさせる」など多様な考えを出させたあと、特に大切な約束を3つ決めて授業を終える。

ポイント

学年の初めに授業を行い、みんなで決めた大切な3つの約束を目だつところに掲示する。定期的（月の初めなど）に3つの約束を振り返り、意識の持続を図る。

出典： 愛知県 愛知県警察 防犯協会ポスター

クレジット： 愛知県防犯協会連合会